

JP013 トモシリ・チトモシリ島 (ともしり・ちともしりじま)

北海道：根室市

位置	N 43° 18′ E 145° 41′
----	----------------------

面積	9ha
----	-----

環境構成【島嶼／草地】

トモシリ島は標高 11.8m、海岸はハマニンニクが主体の草原、斜面および段丘はエゾノシシウド、オオハナウド主体の草原。2006 年 9 月 10 日に植生調査で行った人の話では、南の端にカモメ類の繁殖巣が一つあったのみ。他の鳥の繁殖跡はなし。

チトモシリ島では、トモシリ島北岸から見た限りでは南岸の裸地があるが、詳細は不明。



写真：青木則幸

選定理由

A4i	オオセグロカモメ
-----	----------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である

保全への脅威

- ・ ドブネズミ、ニホンイタチの侵入。オジロワシによる捕食。
- ・ 津波による漂着物による、海鳥類の羅網死

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
減っている

*2012 年トモシリ島においてオオセグロカモメの繁殖が 0 になり 2014 年チトモシリ島でもオオセグロカモメの繁殖が 0 になった。

- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有

<調査データの入手方法>

NPO 法人エトピリカ基金、青木

- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：

変化がある

詳細、具体例等：オジロワシの増加、ニホンイタチの侵入

- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
非常に悪い（40%未満が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：現在作っている、作る準備がある

保全活動

- ・ モニタリング調査：実施者（NPO 法人エトピリカ基金）
内容：3年に一度コドラート調査を実施

IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・ NPO 法人エトピリカ基金

見られる鳥

確認種	オオセグロカモメ、ウミネコ、ウミウ、ヒメウ、キアシシギ、ハシブトガラス（上陸した時周りの岩礁等にいた種）
その他	ハヤブサのものと思われるペリットが根室市歴史と自然の資料館にある

*トモシリ・チトモシリ島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

関連団体・自治体・施設等

- ・ 根室市歴史と自然の資料館

